

旧乃木邸一般公開 朗読会

日程 11/2(月) 11/3(火祝)

時間 12:00~13:30 ごろ

会場 旧乃木邸手水舎前

予約 不要 / 参加費 無料

【ご注意】旧乃木邸一般公開(11/1~11/3)開催中に朗読会を行います。朗読会終了後に邸内を見学される際は、入場券の配布が終了している可能性がありますので、先に旧乃木邸一般公開の入場券をお受け取りになるようお願いします。



数量限定
ホットコーヒー
無料配布

※旧乃木邸内は飲食禁止
となっております。朗読会
場にてお楽しみください。

朗読作品

「お馬」坪田譲治 作

「乃木希典の生涯」

「日本騎兵の父 秋山好古」

「神馬」竹西寛子 作

「乃木希典」伊藤痴遊 著

「紅梅月毛」山本周五郎 作

【お問い合わせ】

高橋是清翁記念公園管理事務所(港区赤坂七丁目3番39号)

電話 : 03-6384-5113

(Fax:03-6384-5116)

担当 : 眞壁(まかべ)

所管 : 港区赤坂地区総合支所まちづくり課

主催 : 赤坂地区公園・児童遊園指定管理者
(かたばみ・山本・GSグループ)

協力 : NPO 日本朗読文化協会

朗読ボランティア グループかもめ
株式会社 アバン アソシエイツ

港区赤坂地区公園情報サイト
<https://www.akasaka-parks.jp/>



H P

Facebook

Instagram

イベント実施にあたって

・イベント内容は状況により変更になる可能性があります。
・屋外で開催するため、台風等の荒天時は中止します。
中止のお知らせはHP・SNSにてお知らせします。

【乃木公園】 港区赤坂8-11-32



Google map はこちら

“乃木希典” ゆかりの物語や、本年は、彼の愛した”馬“にちなんだお話をテーマにお届けします。



「お馬」

坪田譲治 作

明治4年の断髪令が出てもおなお、24年間もちょんまげを結い続けていた頑固な一人の老人と、同じくちょんまげを結っていた親友の馬の先生、また子供たちとの、深い心の交流あふれる作品です。



恩田美穂
11.2



田中美江
11.3



「乃木希典の生涯」

江戸後期から明治に生きた武士／軍人であった乃木希典の62年の激動の生涯を語ります。旧乃木邸庭園に設置されている、辻占少年の像に触れ、旧乃木邸に掲げられている有名な漢詩までご案内いたします。



安島香
11.2



川名まち子
11.3



「日本騎兵の父 秋山好古」

乃木希典と共に日露戦争を戦い、日本の騎兵戦術を根本から変えたと言われています。非常に乃木希典を崇拝し、乃木希典も秋山好古を強く信頼していたという。その豪快きわまる人物像を紹介します。



村田邦安
11.2



原田美和
11.3



「神馬」

じんめ
竹西寛子 作

「神馬」、神に奉納され、古来祭事・祈願の際に重要な馬のこと。一人の少女が、神に仕えるはずの神馬が、人間に媚びを売するような姿を目の当たりにした時…。「神馬と一緒にいたどの時よりも、不幸せになっている自分に気づいた…」。



山村都
11.2



田中邦子
11.3



「乃木希典」

伊藤痴遊 著

乃木希典の人物像を彷彿させる、心温まるエピソードの紹介です。明治8年、乃木希典が連隊長として小倉へ赴任した折り、その官舎での「馬」に係わる出来事から、馬をこよなく愛していた乃木希典の思いに触れます。



東海林明
11.2



櫻井裕
11.3



「紅梅月毛」

山本周五郎 作

戦国時代、伊勢・桑名城を治める本多忠勝のもと、深谷半之丞は、伏見城で行われる馬比べに出場する馬術の名手として選ばれた。だが騎乗すべき彼の選んだ馬は、家中の名馬ではなく、老いた馬であった。名馬とは…、武士と馬の深い絆の物語です。



熊谷安次
11.2



野澤達宜
11.3

グループかもめ

2004年4月に、NPO 日本朗読文化協会に所属する会員有志によって結成されました。毎月の定例会・勉強会を始め、朗読会開催、外部へのイベント参加、子供たちへの支援。高齢者住宅・高齢者施設・幼稚園など9箇所への年間訪問回数は、およそ100回近くになります。それぞれに添った内容で、コミュニケーションを大切に皆さまと共に楽しい時間を過ごしています。